

鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

令和6年度 学校報 No.40

文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校

令和7年 2月14日



冬の体づくり 総決算～ なわとび集会 ～



冬休み明けから取り組んだなわとびタイム。その成果を試すなわとび集会を2月7日に行いました。30秒チャレンジ、マラソンチャレンジ、縦割り班対抗なわとびリレーチャレンジと、それぞれのチャレンジがありました。マラソンチャレンジでは、低学年が1分間、中学年が1分半、高学年が2分止まらずに飛び続けることを競いました。タイマーが10秒を切ると、どこからともなく「10,9,8…」とカウントダウンの声援が響き、「0」となると歓声が沸きました。同じ班の仲間を応援する様子に心が温まりました。

「30秒チャレンジ結果」

1年 前跳び 1位 さ**** 75回 2位 む**** 64回 3位 は**** 62回	1年 後ろ跳び 1位 む**** 63回 2位 た**** 54回 3位 む**** 52回	2年 前跳び 1位 お**** 82回 2位 ま**** 80回 3位 む**** 78回	
2年 後ろ跳び 1位 か**** 64回 2位 つ**** 62回 3位 み**** 52回	1・2年 駆け足跳び 1位 さ**** 49回 2位 さ**** 48回 3位 さ**** 46回	1・2年 ケンケン跳び 1位 つ**** 77回 2位 さ**** 59回 3位 ま**** 53回	1・2年 あや跳び 1位 さ**** 40回 2位 さ**** 39回 3位 さ**** 24回
3年 前跳び 1位 土**** 106回 2位 畑**** 100回 3位 三**** 89回	4年 前跳び 1位 佐**** 98回 2位 佐**** 91回 3位 武**** 84回	3・4年 後ろ跳び 1位 佐**** 66回 2位 土**** 65回 3位 今**** 62回	3年 交差跳び 1位 三**** 71回 2位 佐**** 55回 3位 佐**** 33回
4年 交差跳び 1位 佐**** 61回 2位 佐**** 29回 3位 黒**** 28回	3・4年 あや跳び 1位 佐**** 70回 2位 佐**** 64回 3位 佐**** 62回	3・4年 2重跳び 1位 黒****・三**** 48回 1位 佐****・真**** 45回 3位 佐**** 41回	
5・6年 前跳び 1位 伊****・佐**** 91回 2位 村**** 89回 3位 菅**** 79回	5・6年 後ろ跳び 1位 藤**** 66回 2位 佐**** 65回 3位 佐**** 64回	5年 あや跳び 1位 佐**** 64回 2位 佐**** 53回 3位 土**** 51回	
6年 あや跳び 1位 太**** 75回 2位 小**** 72回 3位 村**** 67回	5年 二重跳び 1位 佐**** 48回 2位 佐**** 42回 周**** 42回 3位 村**** 40回	6年 二重跳び 1位 村**** 57回 2位 三**** 54回 3位 太**** 52回	5・6年 交差跳び 1位 小**** 69回 2位 佐**** 48回 土**** 48回 3位 小**** 41回

「考える」とは？～6年生国語～

今週の6年学年通信では、国語「考える」の学習から、自分にとっての「考える」ということ（意見文）、自分の考えの変化の振り返りが紹介されました。作家・演出家の鴻上尚史さん「考えることとなやむこと」、ロボット学者の石黒浩さん「考えることを考え続ける」、国際連合事務次長の中満泉さんの「考える人の行動が世界を考える」と3人の意見文を読み、6年生はそれぞれ自分にとっての「考える」について見つめ直しました。鴻上さんは、考えることは具体化すること、石黒さんは考えることは細分化すること、中満さんは考えることは批判的に思考すること、のような意見でした。1ヶ月後に卒業式を迎える子どもたちならではの気付き・成長に嬉しくなりました。

三***さん(6年学年だよりから)

3人の筆者の文章を読む前は、考えることは頭を使うことだと思っていました。文章を読み終わってからは、中満さんが「弱い立場の人に心を寄せること、そして何が大切で何が正しいか、どういう未来にしたいのか考え行動することが重要である」と語っていたので、「考える」は、世界を変えることができることだと思いました。最後に、友達と交流したとき、ひなたさんの「考えることは、大変だけど、答えが分かったときは、とてもうれしいし、達成感がある」という意見を聞いて、「考える」は達成感があるものだと感じました。



鳥海名物&稲川名物～3年生きらりタイム～



2月12日(水)、3年生は「きらりタイム」で鳥海のおよさ・稲川のおよさについて、湯沢市立稲川小学校の3年生36人とオンライン交流を行いました。稲川小学校3年生担任の高橋悦子先生(令和4年度まで本校在籍)が、鳥海小学校のことを話題にした際に、稲川の子どもたちから「鳥海小学校の子どもたちと交流したい」という声が出たことをきっかけに実現しました。google-meetを使って、電子黒板に映っている両校の子どもたち。稲川小学校からは稲庭うどん、川連漆器が紹介され、丁寧な説

明に納得して聞いていました。グループに分かれて鳥海りんどう、そば、まつかわもち、法体の滝のおよさを紙芝居仕立てで紹介すると、オンラインでリアルタイムの反応が稲川小学校から届きました。普段と異なる場であっても、稲川小学校3年生が、自分の感想を積極的に話す姿に刺激をもらえたようです。鳥海を知らない3年生に伝えることで、改めて自分の地域のおよさ、秋田県のおよさを見つめ直す機会になりました。

令和6年度保健安全実践活動優秀校に！！

本荘由利学校保健会から「令和6年度保健安全実践活動優秀校」を表彰されました。



計画委員会が写真付きの解説「鳥海小学校ヒヤリ!はっと!ポイント」を掲示してでけがの防止を促し、健康委員会が階段や廊下の安全通行のための標識を作成しました。他にも6月に「歯磨きレッスン」11月に「手洗いチェック」、小中メディアコントロールチャレンジの課題に合わせたアドバイスの検討(「ほけんだより」で保護者にもお知らせ)と、健康委員会(小***さん、齊***さん、周***さん、豊***さん、佐***さんの5名)がアイデアを出し合って全校の健康づくりを促してくれました。さらに「こころの健康づくり」として「全校のお誕生日祝い」、勤労感謝に合わせた「ありがとう給食」を行い、全校一人一人に目を向けた活動も進めてくれました。よりよい生活のために、一人一人が自分の持ち場でがんばっていることが認められた表彰でした。